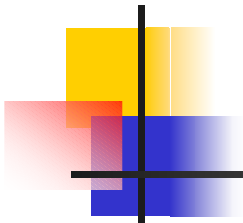




2004年3月期 中間決算説明会

2003年10月

大阪ガス株式会社



インターネットを通じて定期的に経営情報を発信しています

下記のURLで、決算短信、アニュアルレポート、説明会資料等を閲覧・ダウンロードすることが可能です。

<http://www.osakagas.co.jp/ir/>

「見通し」に関する注意事項

このプレゼンテーションには、将来の業績に関する見通し、計画、戦略などが含まれており、これらは現在入手可能な情報から得られた当社グループの判断に基づいております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、これら業績の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、日本経済の動向、急激な為替相場・原油価格の変動並びに天候の異変等があります。



目次

- I. 04.3月期中間決算について
 - 決算のポイント
 - 04.3月期中間期実績I
 - 連結決算の主な差異(対前期)
 - 連結決算の主な差異(対当初見通し)
 - 04.3月期中間期実績II
 - エネルギービジネスの概況
 - 都市ビジネスの概況
 - 中間期ガス販売状況
 - 家庭用ガス販売
 - 商公医療用ガス販売
 - 工業用ガス販売
 - 年間ガス販売見通し
 - 04.3月期見通しI
 - 04.3月期見通しII
- II. 04.3月期上期のトピックス
 - 家庭用ガス需要開発
 - 業務用・工業用ガス需要開発
 - ガス空調需要開発
 - コージェネレーション需要開発
 - 天然ガスビジネスのインフラ拡充
 - 電力ビジネスの進捗状況
- III. 参考資料
 - セグメント情報の見直し
 - セグメント別売上高
 - セグメント別営業利益
 - 決算詳細資料
 - 連結子会社決算データ
 - セグメント情報

I. 04.3月期 中間決算について

決算のポイント

- ガス販売量(大阪ガス個別)
 - 気温影響により、家庭用は対前期+8.2%・対見通し+3.4%の増加。
 - 業務用は空調販売への気温影響と工業用での一部稼動減により、対前期+1.2%増、対見通し 2.0%の減。
 - 全体では、対前期+3.0%増・対見通し 0.7%減の36億m³。
- 決算の概要
 - 個別では、冷夏影響によるガス販売の増(対前期)、原油為替、コストダウン、償却費の上期計上増、前期計上の評価損の反動(対前期)、が影響。
 - 連結子会社は、外食を除き全般に業況が回復、費用執行の抑制、が影響
- セグメント情報の見直しを実施
 - 事業区分の変更と、「全社」に従来計上していた大阪ガスの一般管理費を適切に配賦。
- SVA経営の推進・エネルギービジネス分野の強化
 - ハーマン(分割後のガス器具販売会社)株式をノーリツへ追加譲渡
 - 中山共同発電・中山名古屋共同発電株式35%を追加取得(60%は前年度取得済み)
 - 中部電力との連絡パイプライン敷設検討を開始

04.3月期中間期実績 |

億円、括弧内は連単倍率、「見通し」は4月発表のものを指します。

連結	03.3月期		04.3月期中間期		差異	
	中間期実績		見通し(*)	実績	対前期	対見通
売上高	(1.31) 4,093		(1.32) 4,280	(1.31) 4,249	+156	30
営業利益	(1.44) 271		(1.34) 275	(1.47) 320	+49	+45
経常利益	(1.36) 190		(1.18) 235	(1.35) 290	+99	+55
当期利益	(1.02) 87		(1.00) 105	(1.26) 147	+59	+42
SVA	(---) 43		(0.32) 6	(1.29) 34	+78	+28

* 9月25日発表の業績予想修正で、連結経常利益260億円・連結当期利益125億円としていました。

ガス販売量	百万m3	3,496	3,624	3,600	+104	24
為替レート	円/\$	123.1	125.0	118.1	5.0	6.9
原油価格	\$/bbl	25.6	25.0	28.4	+2.8	+3.4
連結子会社数		54	76	76	+22	±0

ガス販売量は、当ページ以降全て大阪ガス個別。

連結決算の主な差異(対前期)

単位:億円、利益増加をプラス表示

売上高	+156	ガス売上高	+77	ガス販売量の増加	+78
				03年2月料金改定影響	16
				原油為替影響等	+15
		器具(個別)	+49	工業用大型物件の計上等	
		連結範囲変更	+32	新規連結(21社)	+160
				ハーマン除外	127
営業費用	107	ガス原材料費	102	ガス販売量の増加	18
				原油為替影響等	84
		諸経費コストダウン	+44	労務費(転籍・出向除く個別の純減)	+27
		減価償却費	30	姫路8号LNGタンク特別償却	44
営業利益	+49				
その他		営業外費用	+50	関係会社評価損の前期計上	+43
		特別損失	+78	ハーバー売却損の前期計上	+105

連結決算の主な差異(対当初見通)

単位:億円、利益増加をプラス表示

売上高	30	ガス売上高	+19	構成変化(家庭用ガス販売増)	+25
				03年2月料金改定影響	3
				原油為替影響等	3
		器具・受注(個別)	14		
		連結調整	31		
営業費用	+76	ガス原材料費	21	原油為替影響	28
		器具・受注(個別)	+39	原価率低減等による	
		諸経費コストダウン	+12		
		減価償却費	12	姫路8号LNGタンク特別償却	44
		子会社の費用減	+31		
営業利益	+45				

04.3月期中間期実績 II

B/S項目・在籍人員・株主資本比率の前期差は03年3月値との比較、設備投資・減価償却費は前中間期との比較。「見通し」は、4月発表のものを指します。

連結 億円・人	03.3月期実績		04.3月期中間期末		差異	
	中間期末	期末	見通し	実績	対前期	対見通
総資産	11,746	12,096	12,195	11,818	277	376
株主資本	4,703	4,532	4,582	4,800	+268	+218
有利子負債	4,600	4,945	5,229	5,025	+80	203
設備投資	285	671	374	266	19	107
減価償却費	423	828	442	454	+30	+12
在籍人員	14,700	14,005	14,600	14,574	+569	26

株主資本比率	40.0%	37.5%	37.6%	40.6%	+3.1%	+3.0%
--------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

株主資本比率は期末値。在籍人員は、出向を含み個別の嘱託を除く。このため有価証券報告書の従業員数とは異なります。

エネルギービジネスの概況

連結子会社の単純合計。左肩は前期との差額

億円	売上高		当期利益		備考
	中間期	通期見通	中間期	通期見通	
G1	+19 347	+4 742	2 15	+15 24	ハーマンが連結除外となる一方、中山2社・CTS等の新規連結により、増収。近畿配管での工事量減等により減益。
G2 リキッドガス	+2 97	+2 206	+0 6	+5 11	LPG販売価格上昇により増収、産業用ガスの販売増もあって増益。
G3 NIPG	+26 291	41 652	0 0	+0 5	LPG仕入れ価格の上昇により販売価格も上昇し増収、但し販売価格には充分に転嫁できず減益。
エネルギー ビジネス計	+48 736	34 1,600	2 23	+21 42	

NIPG:日商岩井石油ガス、CTS:コージェネテクノサービス

都市ビジネスの概況

連結子会社の単純合計。左肩は前期との差額

億円	売上高		当期利益		備考
	中間期	通期見通	中間期	通期見通	
G4:アーバネックス	+1 162	+0 329	+29 17	+14 21	ハーバー売却に伴う売上減をセレンディの人材派遣拡大等によりカバー。
G5:キンレイ	8 78	10 173	8 1	6 8	既存店の売上不振で減収、当期新規3店の開業費用増加・前期オージーロイヤル株式売却益計上により減益。
G6:オーガス総研	+7 133	9 337	+2 0	+4 10	発注案件の小型化による早期検収等により、中間期の売上増。
G7:大阪ガスケミカル	+6 73	+14 149	+0 2	+2 4	ファイン材事業の本格立上げにより売上増。
G8:オージーキャピタル	+21 337	+38 778	+7 12	+3 27	OSSの定保業務のOGからの受託、OGSのアスレ直営店増加等により売上増。前期キッコリー整理損計上の反動等もあり、増益。
都市ビジネス計	+28 785	+32 1,768	+31 32	+17 71	
G1～G8 総合計	+76 1,521	2 3,369	+29 55	+38 113	

OSS:大阪ガスセキュリティーサービス、OGS:オーグースポーツ

中間期ガス販売状況

基準熱量は45MJ/m ³ 「見通し」は03年4月発表のものを指します。		03.3月期 中間実績	04.3月中間期		差異	
			当初見通	実績	対前期	対見通
期末取付メーター(千件)		6,509	---	6,588	+79	---
新設工事件数(千件)		56	55	56	+0	+1
家庭用1戸当り販売量(m ³ /月)		25.0	25.9	26.9	+1.9	+1.0
	家庭用	832	871	900	+8.2% +68	+3.4% +29
	商業用	521	537	521	+0.0% +0	2.9% 16
	公医療用	264	286	275	+3.9% +10	4.0% 11
	工業用	1,806	1,852	1,827	+1.2% +21	1.3% 25
	業務用計	2,592	2,676	2,623	+1.2% +32	2.0% 53
	卸供給	72	77	76	+5.5% +4	0.7% 1
ガス販売量合計(百万m ³)		3,496	3,624	3,600	+3.0% +104	0.7% 24
うち大口供給		1,766	1,818	1,789	+23	+29

家庭用ガス販売

FY04.3中間期

「見通し」は03年4月発表のものを指します。

	対前期	対見通	備考
調定件数	+0.8%	0.4%	
気温影響	+8.5%	+3.0%	気温実績23.2度(対前期 0.7度、対見通し 0.5度) 水温実績22.1度(対前期 1.5度、対見通し 0.2度)
その他	1.1%	+0.8%	対前期では曜日ずれによる検針日数の減少が影響(1.4%)
合計	+8.2%	+3.4%	



FY04.3通期見通し

- 当初見通し通りの23.3億m3となる見通し。
- 需要開発は床暖房・ファンヒーター等の暖房器具中心のため、下期への寄与が大。
- 下期の気温は標準気温(過去5ヵ年平均をベース)で推移すると想定。

商公医療用ガス販売

FY04.3中間期

「見通し」は03年4月発表のものを指します。

	対前期	対見通	備考
需要開発	+8.7%	0.0%	対前期比8.7%の内訳は、大口物件+2.3%、GHP開発+2.0%、その他一般開発+4.4%
気温影響	2.9%	3.7%	実績23.2度(対前期 0.7度、対見通し 0.5度)
その他	4.5%	+0.4%	稼動増減、廃業に伴う撤去等
合計	+1.3%	3.3%	



FY04.3通期見通し

- 当初見通し通りの15.8億m3となる見通し。
- 需要開発は、既築空調物件のリニューアルを中心に、中間期実績までの堅調な推移を維持していく。
- 下期の前提気温は、家庭用と同様に、過去5年間の平均を使用。

工業用ガス販売

FY04.3中間期

「見通し」は03年4月発表のものを指します。

	対前期	対見通	備考
需要開発	+6.3%	+0.9%	化学メーカーでの増量等を中心に、ほぼ見通し通りに需要を獲得
接続供給へ	1.7%	±0	接続供給量は前期1.1億m ³ ・7件、当期1.3億m ³ ・15件
稼働増減等	3.4%	2.2%	特定の顧客での稼働停止、冷夏影響等による
合計	+1.2%	1.3%	



FY04.3通期見通し

- 当初見通し通りの36.5億m³となる見通し。
- 既存設備の稼働は、中間期の特殊事情・冷夏影響から復帰し、前期並みの稼働率に戻ると想定。需要開発は、中間期並みの堅調な獲得を前提。

年間ガス販売見通し

基準熱量は45MJ/m³、「当初見通」は4月発表のものを指します。

	03.3月期 年間実績	04.3月期		差異	
		当初見通	今回見通	対前期	対当初
期末取付メーター(千件)	6,562	6,635	6,635	+1.1% +73	±0
新設工事件数(千件)	135	131	131	4	±0
家庭用1戸当り販売量(m ³ /月)	34.5	34.6	34.6	+0.3% +0.1	±0
家庭用	2,298	2,334	2,334	+1.6% +36	±0
商業用	986	1,012	1,012	+2.6% +26	±0
公医療用	550	570	570	+3.6% +20	±0
工業用	3,686	3,659	3,659	0.7% 27	±0
業務用計	5,222	5,241	5,241	+0.4% +19	±0
卸供給	168	173	173	+3.0% +5	±0
ガス販売量合計(百万m ³)	7,687	7,748	7,748	+0.8% +61	±0
うち大口供給	3,562	3,571	3,571	+9	±0

04.3月期見通し I

基準熱量は45MJ/m³、「当初見通」は4月発表のものを指します。

連結: 億円	03.3月期 実績	04.3月期		差異	
		当初見通	今回見通	対前期	対当初
売上高	9,479	9,660	9,660	+180	±0
営業利益	859	845	845	14	±0
経常利益	650	775	775	+124	±0
当期利益	296	425	425	+128	±0
SVA	31	220	220	+188	±0

ガス販売量	百万m ³	7,687	7,748	7,748	+61	±0
為替レート	円/\$	122.0	125.0	116.5	5.4	8.5
原油価格	\$/bbl	26.9	25.0	28.7	+1.8	+3.7
連結子会社数		56	76	77	+21	+1

04.3月期見通し II

「当初見通」は4月発表のものを指します。

連結:億円	03.3月期 年間実績	04.3月期		差異	
		当初見通	今回見通	対前期	対当初
総資産	12,096	12,507	12,507	+410	±0
株主資本	4,532	4,848	4,848	+315	±0
有利子負債	4,945	5,122	5,122	+176	±0
設備投資	671	809	809	+137	±0
減価償却費	828	884	884	+55	±0
フリーキャッシュフロー	237	565	565	+327	±0
在籍人員	14,005	14,400	14,400	+395	±0
ROA	2.4%	3.4%	3.4%	+0.9	±0
ROE	6.4%	9.0%	9.0%	+2.5	±0
株主資本比率	37.5%	38.8%	38.8%	+1.3	±0
EPS (円/株)	12.6	18.5	18.5	+5.9	±0

ROA,ROEの分子は共に当期純利益で、分母は期首・期末平均値。株主資本比率は期末値、EPSの分母は期首・期末平均。EPSの計算にあたって、考慮必要な潜在株式はありません。在籍人員は、出向を含み個別の嘱託を除く。このため有価証券報告書の従業員数とは異なる。FCF=営業活動によるキャッシュフロー(税引後営業利益+減価償却費等非現金支出)-設備投資による支出。

II. 04.3月期上期のトピックス

家庭用ガス需要開発

■ 戦略商品の販売状況

床暖房・エコウィルは新築：契約、既築：卸ベース(サブユーザーリフォームは新築に含む)、FHは取付ベース、コンロは卸ベース

千台		03.3月期実績		04.3月期	
		中間期	通期	中間期実績	通期見通し
	新築	84	125	82	112
	既築	21	40	19	50
床暖房計		105	165	101	162
ファンヒーター		32	188	32	210
ガラストップコンロ		9	38	28	62
エコウィル		0	0	1.6	2.0

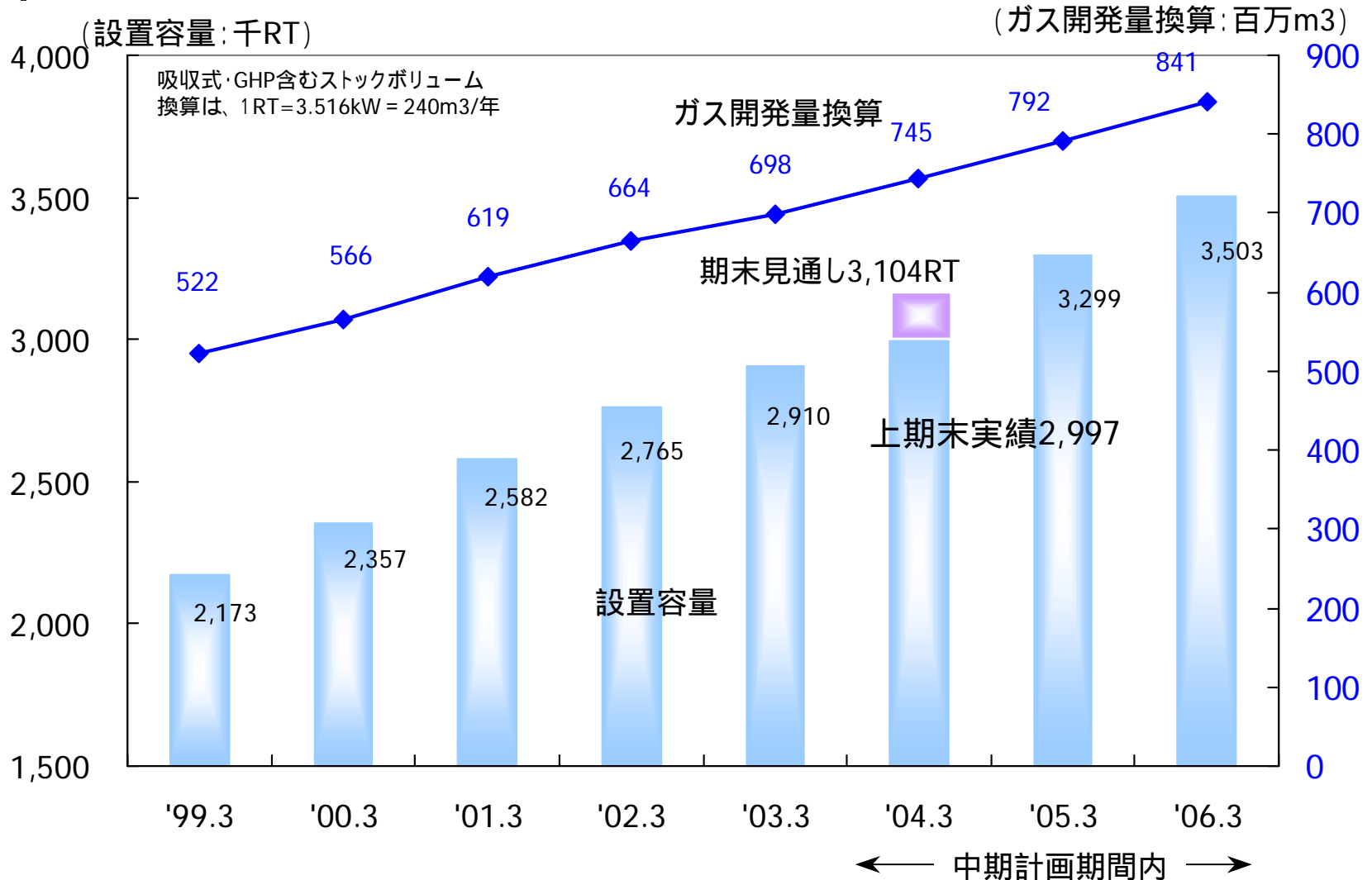
■ その他販売活動

- マンションCGS
- FH等の量販店流通販路の拡大(既存15社+新規6社、計450店舗)
- ガス器具+自動通報サービス+インターネット等による高付加価値提案

業務用・工業用ガス需要開発

- コージェネレーションの普及拡大
 - 高発電効率GEの開発
 - 300-2,400kWで40%を超えるエンジンを整備完了
 - 6,000kWクラスでは43-44%を達成
 - 電源CGS(商用電源兼用CGS)の獲得
 - 現在、2件・約7万kW(自家使用含む)内定済み
 - 8kW・22kW等、マイクロコージェネのシリーズ化による小口電気市場開拓
- 広域展開～区域外へのシリーズオーナー営業
 - 電器量販店へのGHP標準化
- お客さま提案力の強化
 - エネルギーファイナンススキームを更に多様化
 - 空調システムでもCGS同様の遠隔監視・制御システムを導入(スカイリモート)
- 業務用既築市場での熱需要開拓

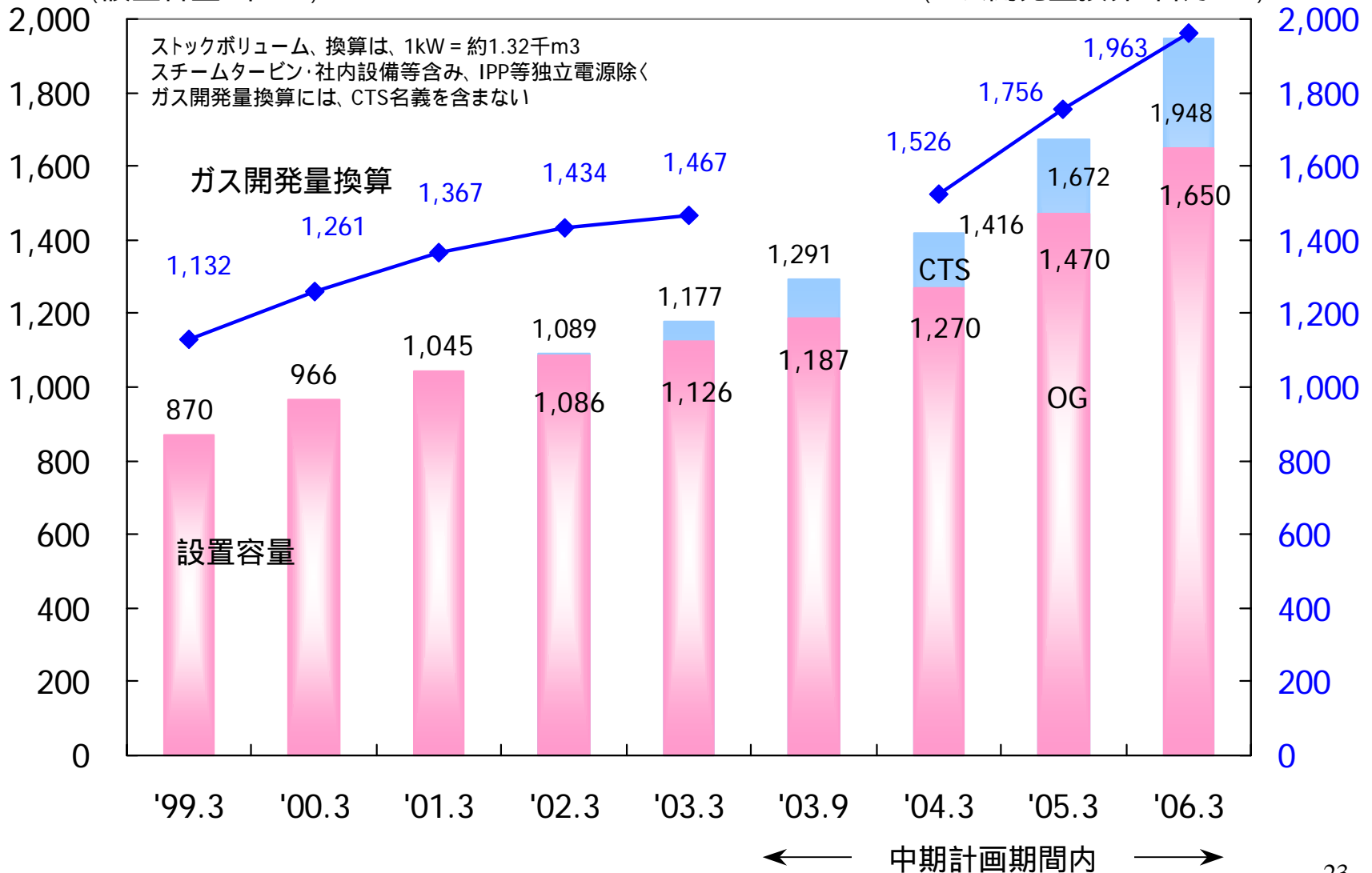
ガス空調需要開発



コージェネレーション需要開発

(設置容量: 千kW)

(ガス開発量換算: 百万m³)



天然ガスビジネスのインフラ拡充



電力ビジネスの進捗状況

- IPP
 - 西島エネルギーセンター、中山共同発電、中山名古屋共同発電の3基計45万kWが稼動中。
- 自社電源の拡充と販売状況
 - 姫路製造所内5万kW(04年6月竣工予定)に加えて、電源CGSによる余剰電源を順次内定中。
 - 05年3月期稼動開始電源(約10万kW)についての先行販売活動を実施、約20件・約6万kWの販売内定(当社からエネットに卸し、エネットが小売り)。
- 泉北160万kW発電所の環境アセスメント進捗状況
 - 6月に方法書の経済産業省・大阪府・地元行政による審査を終え、現在現況調査中
- エネットの関西地区での活動状況
 - 9月末での関西地区の電源は約9万kW・顧客数約30件。

III. 参考資料

セグメント情報の見直し

- 2003年9月発表の04年3月中間期決算より実施
 - 事業別セグメント区分を変更

従来	変更後	
1. ガス	1. ガス	} エネルギービジネス
2. 受注工事	2. LPG・電力・その他エネルギー	
3. 器具	3. 器具及びガス工事	
4. LPG及び産業ガス	4. 不動産	} 都市ビジネス
5. 不動産賃貸	5. その他	
6. その他		

- 「全社」の営業費用に計上していた大阪ガスの一般管理費を各セグメントの営業費用に配分、計上

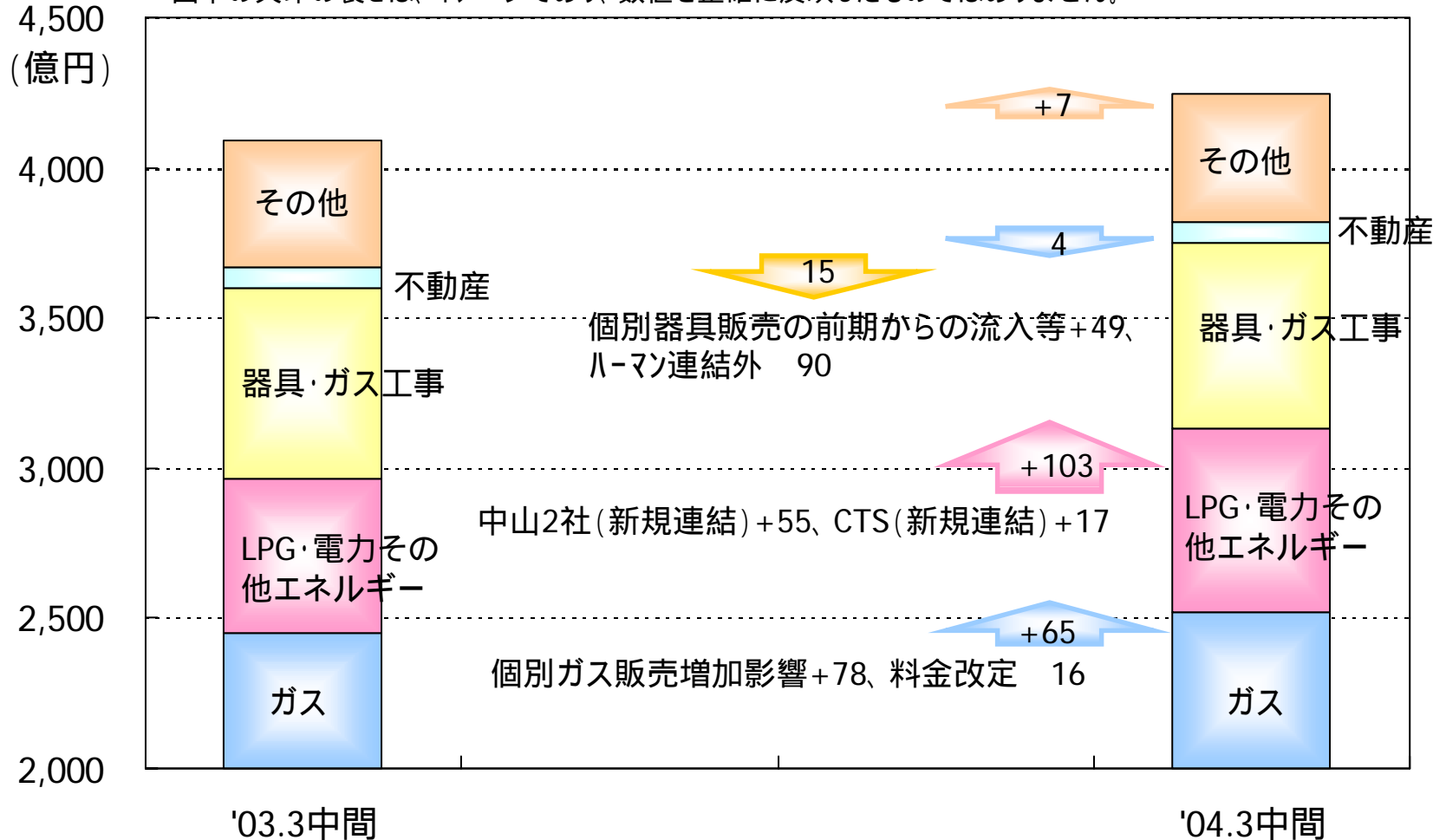


【見直しの理由】

- エネルギービジネス分野と都市ビジネス分野の区分にセグメントを合致させる
- 各セグメント別営業利益を適正に表示する

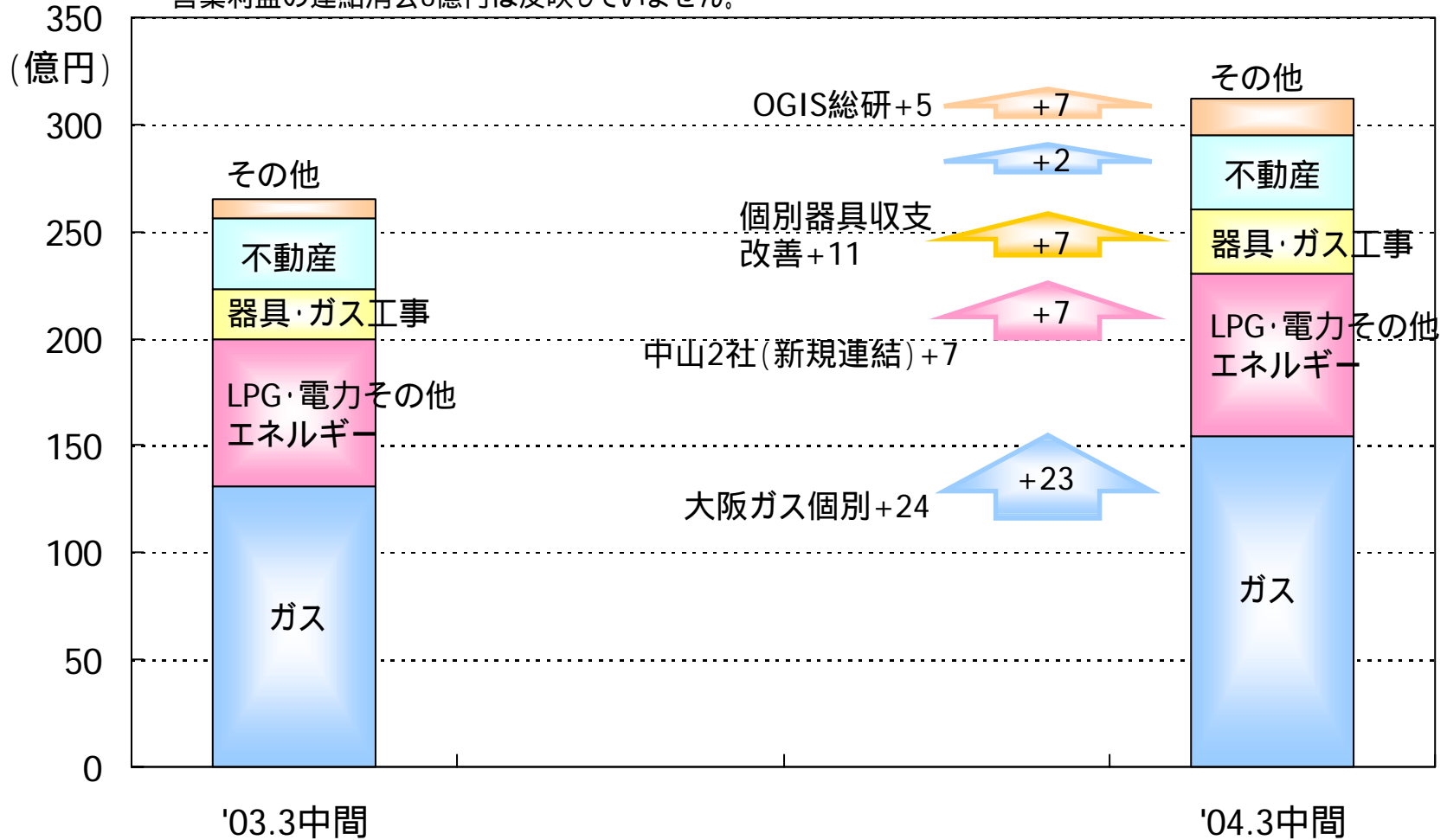
セグメント別売上高 (外部顧客に対する売上高)

図中の矢印の長さは、イメージであり、数値を正確に反映したものではありません。



セグメント別営業利益

図中の矢印の長さは、イメージであり、数値を正確に反映したものではありません。また、営業利益の連結消去6億円は反映していません。



2004.3期 大阪ガス中間決算 数値詳細

キャッシュマネジメント(CMS)に関わる借入金(196億円)は、資金調達のための金融機関からの借入金とは異なるため、有利子負債残高には含まない。

1. 連結

2003.4月発表の見通

BSI項目は03.3通期実績 04.3中間実績(B D)

	03.3		04.3			03.3中間実績 04.3中間実績(A D)		04.3中間見通 実績(C D)		03.3通期実績 04.3通期見通(B E)		
	A中間実績	B通期実績	C中間見通	D中間実績	E今回通期見通	増減	備考	増減	備考	増減	備考	
連結	総売上高	409,319	947,977	428,000	424,969	966,000	15,650		-3,031		18,023	
	営業費用	382,130	862,003	400,500	392,877	881,500	10,747	詳細は「連結子会社単純合計」欄参照	-7,623		19,497	
	営業利益	27,189	85,974	27,500	32,092	84,500	4,903		4,592		-1,474	
	経常利益	19,069	65,079	23,500	29,006	77,500	9,937		5,506	業績修正(260億)との差 +3,006百万	12,421	
	当期純利益	8,775	29,685	10,500	14,771	42,500	5,996		4,271	業績修正(125億)との差 +2,271百万	12,815	
	総資産	1,174,681	1,209,627	1,219,500	1,181,870	1,250,700	-27,757	03.3通期実績からの比較	-37,630		41,073	
	株主資本	470,337	453,284	458,200	480,024	484,800	26,740		21,824		31,516	
	有利子負債残高	460,069	494,535	522,900	502,540	512,200	8,005	長期 61、短期+31、CP+110	-20,360		17,665	
個別	総売上高	311,650	722,240	324,000	324,073	730,000	12,423	ガス売上+77、器具+49	73	ガス売上+19、営雑・附帯 18(器具 7、受注 9)	7,760	ガス売上+47、営雑附帯+30
	営業費用	292,725	655,771	303,500	302,249	666,000	9,524	原料+102	-1,251		10,229	
	営業利益	18,925	66,468	20,500	21,824	64,000	2,899	ガス粗利 25、経費減+67、減価償却費増 19	1,324	器具+23、経費減+36、減価償却費増 42	-2,468	減価償却費 52、経費減+21
	経常利益	13,977	54,177	20,000	21,503	62,000	7,526	営業外改善(03.3REC、コスト評価損+43)	1,503		7,823	営業外改善(03.3REC、コストと有価証券評価損+77)
	当期純利益	8,577	25,453	10,500	11,747	36,500	3,170		1,247		11,047	
	総資産	965,820	972,954	968,200	963,941	992,100	-9,013	03.3通期実績からの比較	-4,259		19,146	
	株主資本	409,918	391,983	394,000	408,666	414,100	16,683		14,666		22,117	
	有利子負債残高	378,663	391,119	412,400	401,359	401,800	10,239	前中間期末差+22,696 季節要因が主	-11,041		10,681	
連単倍率	総売上高	1.31	1.31	1.32	1.31	1.32	0.00		-0.01		0.01	
	営業利益	1.44	1.29	1.34	1.47	1.32	0.03		0.13		0.03	
	経常利益	1.36	1.20	1.18	1.35	1.25	-0.02		0.17		0.05	
	当期純利益	1.02	1.17	1.00	1.26	1.16	0.23		0.26		0.00	
	総資産	1.22	1.24	1.26	1.23	1.26	-0.02	03.3通期実績からの比較	-0.03		0.02	
	株主資本	1.15	1.16	1.16	1.17	1.17	0.02		0.01		0.01	
	有利子負債残高	1.21	1.26	1.27	1.25	1.27	-0.01		-0.02		0.01	
連結 - 個別	総売上高	97,669	225,737	104,000	100,896	236,000	3,227		-3,104		10,263	
	営業費用	89,405	206,232	97,000	90,628	215,500	1,223		-6,372		9,268	
	営業利益	8,264	19,506	7,000	10,268	20,500	2,004		3,268		994	
	経常利益	5,092	10,902	3,500	7,503	15,500	2,411		4,003		4,598	
	当期純利益	198	4,232	0	3,024	6,000	2,826		3,024		1,768	
連結子会社 単純合計	総売上高	144,476	337,159	152,354	152,146	336,919	7,669	既存 83(連結除外 127(ハ-マン)),新規+160	-209	既存+14(NIPG+13他)、新規 16(CTS 8、中山名古屋 6)	-240	既存 365(ハ-マン 280、NIPG 37、キッパ 10、OGE 46)、新規+363
	営業費用	136,749	318,122	145,299	142,129	315,795	5,380		-3,170		-2,328	
	営業利益	7,727	19,037	7,055	10,016	21,125	2,289	既存+10(オ-ジス+5)、新規+11	2,961	既存+27(UX+4、オ-ジス+4 他)、新規+1	2,087	既存 8(ハ-マン 1)、新規+29、
	経常利益	6,776	13,429	6,389	9,711	20,294	2,935	既存+23(オ-ジス+4)、新規+5	3,322	既存+31(UX+4、リキッド+3 他)、新規+1	6,865	既存+50(GPI+20、リキッド+7、UX+7、キャピタル+7)、新規+17(中山2社+13)
	当期純利益	2,648	7,509	2,875	5,575	11,375	2,927	既存+26(UX+29)、新規+2	2,700	既存+25(GPI+4、オ-ジス+3、UX+3)、新規+1	3,866	既存+28(GPI+14、UX+14)新規+10(中山2社+8)
連結	総資本利益率ROA %	0.7%	2.4%	0.9%	1.2%	3.4%	0.5%		0.4%		1.0%	
	株主資本利益率ROE %	1.9%	6.4%	2.3%	3.2%	9.0%	1.3%		0.9%		2.5%	
	総資本回転率	0.34	0.77	---	0.36	0.79	0.02				0.01	
	株主資本比率 %	40.0%	37.5%	37.6%	40.6%	38.8%	3.1%	03.3通期実績からの比較	3.0%		1.3%	
	一株当たりの利益EPS 円	---	12.6	---	-	18.5					5.9	
	SVA 百万円	-4,358	3,158	600	3,497	22,000	7,855		2,897		18,842	
個別	総資本利益率ROA %	0.9%	2.6%	1.1%	1.2%	3.7%	0.3%		0.1%		1.1%	
	株主資本利益率ROE %	2.1%	6.4%	2.7%	2.9%	9.1%	0.8%		0.3%		2.7%	
	総資本回転率	0.32	0.73	---	0.33	0.74	0.02				0.01	
	株主資本比率 %	42.4%	40.3%	40.7%	42.4%	41.7%	2.1%	03.3通期実績からの比較	1.7%		1.5%	
	SVA 百万円	-2,484	3,658	1,900	2,699	18,500	5,183		799		14,842	

B/S項目は、期末値

	03.3		04.3			03.3中間実績 04.3中間実績(A D)		04.3中間見通 実績(C D)		03.3通期実績 04.3通期見通(B E)		
	A中間実績	B通期実績	C中間見通	D中間実績	E今回通期見通	増減	備考	増減	備考	増減	備考	
連結	在籍人員(人)	14,700	14,005	14,600	14,574	14,400	569	03.3通期実績からの比較	-26		395	
	設備投資額(百万円)	28,595	67,107	(32,400)	(23,279)	(67,900)	-1,950		(-9,121)			
				37,400	26,645	80,900			-10,755	大阪ガス個別の影響による	13,793	
単体	在籍人員(出向含む、嘱託除く)	8,809	7,930	7,900	7,851	7,700	-79	03.3通期実績からの比較	-49		-230	
	設備投資額	18,153	48,321	(22,100)	(14,884)	(46,700)	-2,527	導管C/D 13	(-7,216)	製造 14、供給 71(滋賀ライン工期スレ 30)、業務 17	6,779	

() 成長投資を除く、通常の事業維持のための設備投資。
成長投資の中間実績:連結3,366百万・個別742百万

実績見通しは百万円単位、備考は億円単位。

C/D = コストダウン 号T = 号タック CTS = コージェネテクノサービス、GPI = ガスアンドパワーインベストメント、OGE = 大阪ガスエンジニアリング、REC = リンくうエネルギーセンター、UX = アーバネット、オ-ジス = オ-ジス総研、近配 = 近畿配管、コスモ = コスモスクエア熱供給、キャピタル = OGキャピタル、西島EC = 西島エネルギーセンター(IPP)、名張 = 名張近鉄ガス、中山2社 = 中山共同発電および中山名古屋共同発電、リキッド = リキッドガス

2. 大阪ガス個別

	03.3		04.3			03.3中間実績 04.3中間実績(A D)		04.3中間見通 実績(C D)		03.3通期実績 04.3通期見通(B E)	
	A中間実績	B通期実績	C中間見通	D中間実績	E今回通期見通	増減	備考	増減	備考	増減	備考
ガス売上高	246,551	569,261	252,300	254,266	574,000	7,715	販売量増+78、料金改定 16、原油為替影響等+15	1,966	構成変化(家庭用増)+25、料金改定 3、原油為替影響等 3	4,739	料金改定 36
その他収益	65,099	152,979	71,700	69,808	156,000	4,709		-1,892		3,021	
営業雑収益	53,095	127,545	58,800	57,306	130,000	4,211		-1,494		2,455	
器具	37,829	91,827	43,500	42,814	95,500	4,984	工業用+41	-686	家庭用 18、空調+8	3,673	前年度より検収流入
受注	15,123	35,415	15,200	14,313	34,000	-811	単価改定影響等 6	-887	新設件数減	-1,415	
その他	142	304	100	179	500	37		79		196	
附帯事業収益	12,004	25,434	12,900	12,502	26,000	498	液売+3	-398		566	
総売上高	311,650	722,240	324,000	324,073	730,000	12,424		73		7,760	
原材料費	74,310	181,557	82,400	84,530	185,500	10,220	販売量増+18、原油為替影響等+84	2,130	原油為替+28	3,943	
労務費	52,243	108,048	48,600	49,790	97,400	-2,453	人員減(958人減)	1,190		-10,648	人員減、03.3退職手当 18、
諸経費	76,105	162,473	76,500	71,718	171,000	-4,387		-4,782		8,527	
修繕費	13,806	29,728	15,300	13,480	33,000	-326	詳細は3P参照	-1,820	詳細は3P参照	3,272	詳細は3P参照
その他経費	62,299	132,745	61,200	58,238	138,000	-4,060		-2,962		5,255	
減価償却費	31,785	61,779	29,500	33,733	67,000	1,948	償却の進行、姫路8号T前倒し取得	4,233	姫路8号T前倒取得・特別償却+44、普通+3	5,221	姫路8号T+63、京滋ライン+25、姫路ライン+5
その他費用	58,282	141,914	66,500	62,477	145,100	4,196		-4,023		3,186	
営業雑費用	50,332	124,812	57,600	53,678	126,600	3,346		-3,922		1,788	
器具	35,859	90,699	42,800	39,740	93,500	3,881	売上増見合い	-3,060	原価率の低減等	2,801	前年度より検収流入
受注	14,473	34,113	14,800	13,937	33,100	-535		-863		-1,013	
附帯事業費用	7,950	17,102	8,900	8,800	18,500	850		-100		1,398	
費用計	292,725	655,772	303,500	302,249	666,000	9,524		-1,251		10,228	
営業利益	18,925	66,468	20,500	21,825	64,000	2,900		1,325		-2,468	
営業外損益	-4,948	-12,291	-500	-321	-2,000	4,626		179		10,291	
営業外収益	3,346	7,482	2,800	3,459	6,000	114		659		-1,482	
営業外費用	8,293	19,772	3,300	3,780	8,000	-4,513	03.3REC・コスト評価損 43	480		-11,772	03.3REC・コスト評価損 43、03.3株式評価損 77
金融費用	2,110	4,283	2,900	2,859	5,900	749		-41		1,617	有利子負債増加等
経常利益	13,977	54,178	20,000	21,503	62,000	7,526		1,503		7,822	
特別損益	-403	-13,361	-3,000	-2,590	-3,000	-2,187	土地売却損	410		10,361	03.3早期退職拡充 129
法人税等(調整額込み)	4,998	15,363	6,500	7,166	22,500	2,168		666		7,137	
当期純利益	8,577	25,453	10,500	11,747	36,500	3,171		1,247		11,047	

	03.3		04.3			03.3中間実績 04.3中間実績(A D)		04.3中間見通 実績(C D)		03.3通期実績 04.3通期見通(B E)	
	A中間実績	B通期実績	C中間見通	D中間実績	E今回通期見通	増減	備考	増減	備考	増減	備考
ガス粗利	172,241	387,704	169,900	169,736	388,500	-2,505	スライド 66、料金改定 12、販売量増+59	-164	スライド 29、料金改定 3	796	スライド+47、料金改定等 39
器具差益	1,970	1,128	700	3,074	2,000	1,103	工業用+8	2,374	原価率の低減等	872	
受注差益	650	1,302	400	375	900	-275		-25		-402	新設減(-4千件)
附帯差益	4,054	8,332	4,000	3,702	7,500	-352		-298		-832	
ガス粗利内数											
料金によるスライド回収	-2,270	-9,959	7,600	7,624	15,800	9,894	料金改定により計算基準の原油価格を変更したため年度間比較は出来ません。	24	枠外下記注記を参照	25,759	料金改定により計算基準の原油価格を変更したため年度間比較は出来ません。
原料費の増加分	-7,301	-5,180	6,200	9,204	15,800	16,505		3,004		20,980	
差引き(スライド差損益)	5,031	-4,779	1,400	-1,580	0	-6,611		-2,980		4,779	
原油(\$/bbl)	25.6	26.9	25.0	28.4	28.7	2.8		3.4		1.8	下期見通し29\$/bbl
為替(円/\$)	123.1	122.0	125.0	118.1	116.5	-5.1		-6.9		-5.5	下期見通し115円/\$
平均気温(C°)	23.9	16.8	23.6	23.2	17.0	-0.7		-0.4		0.2	
45MJ/m3											
家庭用	832	2,298	871	900	2,334	68	前年比108.2%	29	103.4%	36	101.6%
業務用	2,592	5,222	2,676	2,623	5,241	31	前年比101.2%	-53	98.0%	19	100.4%
商業用	521	986	537	521	1,012	0	前年比100.0%	-16	97.1%	26	102.6%
公医療用	264	550	286	275	570	11	前年比103.9%	-11	96.0%	20	103.6%
工業用	1,806	3,686	1,852	1,827	3,659	21	前年比101.2%	-25	98.7%	-27	99.3%
卸供給	73	168	77	76	173	4	前年比105.5%	-1	99.3%	5	103.2%
ガス販売量計(百万m3)	3,496	7,687	3,624	3,600	7,748	104	前年比103.0%	-24	99.3%	61	100.8%
うち大口供給	1,766	3,562	1,818	1,789	3,571	23	101.3%	-29	98.4%	9	100.3%
新設件数(千件)	56	135	55	56	131	0		1		-4	

ガス販売量は03.3期から45MJ表記に変更し過年度も修正しています。

4月発表時の「ガス粗利内数」見通し(中間・期末)が間違っておりました。お詫びし上記のように訂正させていただきます。

主要ガス機器 販売実績

	03.3		04.3			03.3中間実績 04.3中間実績(A D)		04.3中間見通 実績(C D)		03.3通期実績 04.3通期見通(B E)	
	A中間実績	B通期実績	C中間見通	D中間実績	E今回通期見通	増減	備考	増減	備考	増減	備考
床暖房 (千台)	105	165	82	101	162	-4		19		-3	
浴室暖房乾燥機 (千台)	55	88	42	52	92	-3		10		4	
一般業務用 (千kW)	9	27	8	15	21	6		7		-6	
工業用 (千kW)	20	149	36	64	99	44		28		-50	
コジェネ開発容量計 (千kW)	29	176	44	78	120	49		34		-56	
一般業務用 (千RT)	75	149	55	86	145	11		31		-4	
工場冷熱 (千RT)	25	31	13	21	33	-4		8		2	
空調総冷凍トン (千RT)	100	180	68	107	178	7		39		-2	

諸経費の明細(原材料費、労務費、減価償却費を除き、受託加工振替圧縮後を計とする)

	03.3		04.3			03.3中間実績 04.3中間実績(A D)		04.3中間見通 実績(C D)		03.3通期実績 04.3通期見通(B E)	
	A中間実績	B通期実績	C中間見通	D中間実績	E今回通期見通	増減	備考	増減	備考	増減	備考
修繕費	13,806	29,728	15,300	13,480	34,000	-326	導管 8、メーター-個数増加+5	-1,820	導管 12	4,272	
消耗品費	3,202	8,044	4,600	4,454	9,400	1,252	メーター-個数増加+12	-146	供給管 1	1,356	
賃借料	7,863	15,342	7,900	7,622	15,500	-241	システム 2	-278	システム 2	158	
委託作業費	22,124	44,240	18,300	18,939	45,300	-3,185	システム 42、定期保安巡回委託 + 11	639	サービスショップ 関連+3	1,060	
租税課金	14,293	24,362	14,700	14,411	25,000	117		-289	固定資産税 2	638	
需要開発費	3,918	13,091	5,000	4,029	15,900	111		-971	下期へ	2,809	施策強化+30
固定資産除却費	3,847	7,744	2,900	2,771	6,600	-1,075	導管 3(移設・入替工事減)、03.3北港 3、業務設備 1	-129		-1,144	
雑費	3,711	10,155	4,000	3,188	9,500	-523	ソフトウェア 1など	-812	調査費 3、負担金 2、等	-655	
その他の費目	3,341	9,766	3,800	2,825	9,800	-516		-975		34	
計	76,105	162,473	76,500	71,718	171,000	-4,387		-4,782		8,527	

3.フリーキャッシュフロー

連結フリーキャッシュフロー

	03.3		04.3			03.3中間実績 04.3中間実績(A D)		04.3中間見通 実績(C D)		03.3通期実績 04.3通期見通(B E)	
	A中間実績	B通期実績	C中間見通	D中間実績	E今回通期見通	増減	備考	増減	備考	増減	備考
支払い税金控除後営業利益	-10,362	16,687	14,700	14,100	59,400	24,462		-600		42,713	
減価償却費	42,391	82,805	44,200	45,458	88,400	3,067		1,258		5,595	
その他内部留保等	-4,367	-6,919	-12,300	-33,946	-23,400	-29,579	売却損 76(03.3ハ-ハ'-)、退職給付引当金減少 57	-21,646	棚卸資産増加 140、未払い費用の減少	-16,481	
営業活動によるキャッシュフロー	27,662	92,573	46,600	25,612	124,400	-2,050		-20,988		31,827	
設備投資による支出	-35,290	-68,861	-32,400	-30,393	-67,900	4,897		2,007		961	
フリーキャッシュフロー	-7,628	23,712	14,200	-4,781	56,500	2,847		-18,981		32,788	

単体フリーキャッシュフロー

	03.3		04.3			03.3中間実績 04.3中間実績(A D)		04.3中間見通 実績(C D)		03.3通期実績 04.3通期見通(B E)	
	A中間実績	B通期実績	C中間見通	D中間実績	E今回通期見通	増減	備考	増減	備考	増減	備考
支払い税金控除後営業利益	-9,332	11,286	10,500	10,909	47,800	20,241		409		36,514	03.3早期退職拡充+129
減価償却費等	33,473	64,653	29,600	35,524	67,400	2,051		5,924		2,747	
その他内部留保等	-11,885	-14,642	-11,800	-35,527	-23,500	-23,642		-23,727		-8,858	
営業活動によるキャッシュフロー	12,256	61,297	28,300	10,906	91,700	-1,350		-17,394		30,403	
設備投資による支出	-25,692	-49,974	-22,100	-21,581	-46,700	4,111		519		3,274	
フリーキャッシュフロー	-13,436	11,323	6,200	-10,675	45,000	2,761		-16,875		33,677	

「設備投資による支出」はキャッシュフローベースの設備投資額であり、設備投資公表額とは一致しません。

[為替・原油価格による原材料費の変化] 通期
 為替1円/\$当たり 14億円 (12)
 原油1\$/bbl当たり 40億円 (47)
 [金利による支払利息の変化(1%当たり)] 通期
 連結 13億円 個別 10億円
 原油価格の影響は、JCC等の指標価格と実際の購入に使用する価格との間に価格自体の変動と適用時期のズレがあるため、感度計算と実際の原料費が一致しない場合があります。

2004.3期 大阪ガス中間決算セグメント別実績

(百万円)

	ガス	LPG・電力・ その他エネルギー	器具及び ガス工事	不動産	その他	計	消去又は 全社	連結
外部顧客に対する売上高	251,964	61,505	61,818	6,827	42,853	424,969	-	424,969
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,303	742	152	9,537	15,352	29,087	-29,087	-
売上								
計	255,268	62,247	61,970	16,365	58,205	454,056	-29,087	424,969
対前年差異(外部顧客)	6,582	10,349	-1,547	-458	725	15,650	-	15,650
差異理由	OG 6,585 名張近鉄 -3	中山2社 5,595 NIPG 2,134 CTS 1,727	OG器具 4,984 OG受注 -810 ハーマン連結除外 -9,080 ハーツ 1,023 エネック大阪 678	UX(神戸地区 売上減) -261 OSC -128	OGIS 928			
営業費用								
	239,805	54,620	58,929	12,820	56,475	422,650	-29,773	392,876
対前年差異	5,377	9,497	-2,258	-292	1,488	13,811	-3,064	10,747
営業利益								
	15,462	7,627	3,040	3,544	1,730	31,406	686	32,092
対前年差異	2,334	660	719	236	795	4,746	157	4,903
差異理由	OG 2,446 名張近鉄 -112	中山2社 700 (1,161-460)	OG器具 1,103 OG受注 -275 ハーマン連結除外 246 近配 -228	UX 82 セレンディ 91	OGIS 589 OSS 354 オーシック 251 キンレイ -391			

CTS = コージェネテクノサービス、OG器具(受注)=大阪ガス売上の器具(受注工事)、OSC=オー・エス・シーエンジニアリング、OSS = 大阪ガスセキュリティサービス、NIPG=日商岩井石油ガスグループ、UX = アーバンエックス、近配 = 近畿配管、名張近鉄 = 名張近鉄ガス、中山2社 = 中山共同発電および中山名古屋共同発電

新セグメントとG8区分との対応表

新セグメント		G8区分		
エ ネ ル ギ ー ビ ジ ネ ス	ガス	1 大阪ガス 2 名張近鉄ガス } G1	G1 0 大阪ガス 1 名張近鉄ガス	
	LPG・電力・その他エネルギー	1 大阪ガス 2 名張近鉄ガス 3 芦屋浜エネルギーサービス 4 大阪ガスインターナショナルトラスト 5 ガスアンドパワー 6 ガスアンパワーインベストメント 7 中山共同発電 8 中山名古屋共同発電 9 六甲アイランドエネルギーサービス 10 シー・アンド・エムエネルギーサービス 11 Osaka Gas Australia Pty.Ltd. 12 OG ZOCA(95-19)Pty.Ltd. 13 OG ZOCA(96-20)Pty.Ltd. 14 クリエテ関西 15 コージェネテクノサービス 16 アイさぼーと } G1	2 芦屋浜エネルギーサービス 3 大阪ガスインターナショナルトラスト 4 ガスアンドパワー 5 ガスアンパワーインベストメント 6 中山共同発電 7 中山名古屋共同発電 8 六甲アイランドエネルギーサービス 9 シー・アンド・エムエネルギーサービス 10 Osaka Gas Australia Pty.Ltd. 11 OG ZOCA(95-19)Pty.Ltd. 12 OG ZOCA(96-20)Pty.Ltd. 13 クリエテ関西 14 コージェネテクノサービス 15 アイさぼーと 16 近畿配管 17 オージーロード 18 エネテック京都 19 きんばいリテック 20 エネテック大阪 21 洛陽ガスセンター 22 くずはガスリビング 23 ハロー 24 オーエヌイー 25 学園前ガスセンター 26 竹中舞子サービスショップ 27 ハーツ 28 ハーマンライフ 29 ハーマンライフ大阪 30 せいみ	
	リキッドガス ユールド・エア・フロダック 近畿液炭 三新ガスエンジニアリング クリオ・エア リキッドガス京都 ガスネット } G2	17 リキッドガス 18 ユールド・エア・フロダック 19 近畿液炭 20 三新ガスエンジニアリング 21 クリオ・エア 22 リキッドガス京都 23 ガスネット		
	日商岩井石油ガス 日商プロパン石油 日商岩井ガス 日商ガス販売 三重日商ガス 北陸日商プロパン 日商岩井ガスエンジニア 愛媛日商プロパン 高知日商プロパン 日商岩井システム販売 } G3	24 日商岩井石油ガス 25 日商プロパン石油 26 日商岩井ガス 27 日商ガス販売 28 三重日商ガス 29 北陸日商プロパン 30 日商岩井ガスエンジニア 31 愛媛日商プロパン 32 高知日商プロパン 33 日商岩井システム販売		
	器具及びガス工事	1 大阪ガス 2 近畿配管 3 オージーロード 4 エネテック京都 5 きんばいリテック 6 エネテック大阪 7 洛陽ガスセンター 8 くずはガスリビング 9 ハロー 10 オーエヌイー 11 学園前ガスセンター 12 竹中舞子サービスショップ 13 ハーツ 14 ハーマンライフ 15 ハーマンライフ大阪 } G1	G2 0 リキッドガス 1 ユールド・エア・フロダック 2 近畿液炭 3 三新ガスエンジニアリング 4 クリオ・エア 5 リキッドガス京都 6 ガスネット	
	都 市 ビ ジ ネ ス	不動産	1 せいみ } G1 2 アーバネックス } G4 3 セレンディ } G4 4 プラネットワーク } G4 5 アーバネックスサービス } G4 6 京都リサーチパーク } G8 7 オール・エス・シー・エンジニアリング } G5 8 大阪管財 } G8 9 オージーキャピタル } G6	G3 0 日商岩井石油ガス 1 日商プロパン石油 2 日商岩井ガス 3 日商ガス販売 4 三重日商ガス 5 北陸日商プロパン 6 日商岩井ガスエンジニア 7 愛媛日商プロパン 8 高知日商プロパン 9 日商岩井システム販売
		その他	1 キンレイ } G5 2 オージズ総研 } G6 3 宇部情報システム } G6 4 システムアンサー } G7 5 大阪ガスケミカル } G7 6 太陽化成 } G8 7 上海東島炭素化工有限公司 } G8 8 ドナック } G8 9 ユニチカライフ } G8 10 大阪ガスエンジニアリング } G8 11 KRI } G8 12 大阪ガス住宅設備 } G8 13 関西ビジネスインフォメーション } G8 14 大阪ガスセキュリティサービス } G8 15 オージズスポーツ } G8 16 オージードサービス } G8 17 オージック } G8 18 テクノグリーン } G8 19 エルネット } G8 20 アクティブライフ } G8 21 オージーメンテナンスサービス } G8	G4 0 アーバネックス 1 セレンディ 2 プラネットワーク 3 アーバネックスサービス 4 京都リサーチパーク 5 オール・エス・シー・エンジニアリング 6 大阪管財
				G5 0 キンレイ
				G6 0 オージズ総研 1 宇部情報システム 2 システムアンサー
				G7 0 大阪ガスケミカル 1 太陽化成 2 上海東島炭素化工有限公司 3 ドナック
				G8 0 オージーキャピタル 1 ユニチカライフ 2 大阪ガス住宅設備 3 大阪ガスエンジニアリング 4 オージック 5 大阪ガスセキュリティサービス 6 オージズスポーツ 7 オージードサービス 8 関西ビジネスインフォメーション 9 エルネット 10 テクノグリーン 11 KRI 12 アクティブライフ 13 オージーメンテナンスサービス

大阪ガス } 複数セグメント会社
名張近鉄ガス }

・2004.3期連結子会社を記載